

○一般社団法人 日本森林学会 2020年度第2回（通算第473回）理事会 議事録

日時：2020年5月27日（水）9:00～10:00

場所：Web会議システム（Adobe Connect）を用いて開催

開催者：黒田慶子

出席者：会長）黒田慶子，副会長）田中 浩，小島克己，理事）玉井幸治，柿澤宏昭，竹中千里，正木 隆，伊藤 哲，松本麻子，福田健二，大住克博，井鷲裕司，高山範理，佐藤宣子，大久保達弘，大河内 勇，船田 良，中村太土，梶本卓也，横井秀一，監事）小池孝良，堀 靖人，主事）南光一樹，岩永青史，滝 久智，吉藤奈津子，坂下 涉，長倉淳子，澤野真治，荒木眞岳，山崎理正，永野聡一郎，竹内啓恵，今村直広，東原貴志，編集部）町田庸子〔学会誌刊行センター〕，事務局）稲村崇子，オブザーバー）土屋俊幸〔第132回大会運営委員長〕，丹下健〔次期理事候補〕，太田祐子〔次期理事候補〕

議長：黒田慶子

Web会議システム（Adobe Connect）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

1. 第132回大会（東京農工大）の開催方針について

玉井理事（総務担当），土屋大会運営委員長及び船田理事（木材学会担当）から，新型コロナウイルスの感染状況から，第132回大会について，オンライン開催を基本として準備を進めること，大会収支見込については未確定部分が多いため総会では報告しないこと，木材学会との合同シンポジウムの内容を再検討するため公開シンポジウムについて総会では報告しないことが提案された。詳細は今後の検討を重ねることとして，提案のとおり承認された。

2. 2020年度事業計画の修正

玉井理事（総務担当）から，2019年度第5回メール理事会（2020年2月25日決議）において承認を受けた2020年度事業計画について，その後の状況の変化にもとづく修正（第131回日本森林学会大会の開催，第132回日本森林学会大会の準備，第133回日本森林学会大会の準備，ダイバーシティ推進の取り組み，国内研究機関連携の推進，学会運営の改善・増税への対応）が提案された。提案のとおり承認された。

3. ダイバーシティ推進委員会の常置委員会化にかかる定款の改正案

玉井理事（総務担当）及び高山理事（ダイバーシティ推進担当）から，臨時委員会であるダイバーシティ推進委員会を常置委員会に位置付けるための定款の変更が提案された。提案のとおり承認され，2020年定時総会の承認を求めることとなった。

4. 前回までの議事録

2020 年度第 1 回（通算第 472 回）理事会の議事録が承認された。

5. 次回理事会の開催

次回の理事会を 2020 年 9 月に開催することが承認された。

報告事項：

1. 第 131 回大会（名古屋大学）の開催報告

竹中理事から、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により会場開催が中止となったこと、公開シンポジウムの中止、大会参加申込者数（一般 769 名、学生 269 名）、懇親会申込者数（一般 192 名、学生 53 名）、学術講演集に基づく研究発表件数（部門別口頭 228 件、部門別ポスター 479 件、企画シンポジウム 81 件、公募セッション 92 件、公募セッションポスター 42 件）、高校生ポスターの件数（44 件）、託児室の申込数（10 件、子供 13 名、延べ 36 日人）、大会運営の状況、大会の収支見込みなどが報告された。

小島理事から、大会事後処理委員会の設置（2020 年 2 月 28 日）からの活動について報告された。

2. 第 132 回大会（東京農工大学）の準備状況

土屋大会運営委員長及び梶本理事（プログラム編成担当）から、会員へのお知らせ（第 1 回）に新型コロナウイルスの感染の状況によって開催方法が変更される可能性と、木材学会大会に参加する人の本大会への参加方法について情報を加えたことが報告された。オンライン開催ではライブが基本となりそうなこと、本大会前にオンライン開催されそうな別の学会と情報交換することが議論された。

3. 総務担当からの報告

玉井理事から、5 月 7 日に大会運営委員会引継ぎ会議が行われたこと、2020 年定時総会の議案書と進行表、2 件の共催・後援・協賛依頼の承認について報告された。

4. 日林誌編集担当からの報告

正木理事及び町田編集部より、投稿審査状況が報告された。100 号（2018 年）に比べて 101 号（2019 年）が全体で 100 ページ増えたこと、102 号（2020 年）も今のペースならページ増が見込まれることが報告された。

5. JFR 編集担当からの報告

伊藤理事より、出版状況、特集号の進捗、短報ページ数制限の変更開始の詳細な日時、Invited Review の進捗と掲載予定について報告された。25 巻 2 号はオンライン発行済みだが、冊子体は掲載数を満たす原稿量の確保の遅れ及び新型コロナウイルス禍の影響による印刷・空輸の遅れに伴い、6 月下旬に 3 号と一緒に発送を予定していることが報告された。

6. 広報担当からの報告

福田理事より、メールマガジンの発行状況（毎月のものに加えた 1 件の臨時メールマガジン）、

jfs-mail のアドレスリストの更新 (2020 年 5 月 18 日時点で 1,546 件), ウェブサイトの更新記録について報告された。情報暗号化のプロトコルである SSL (Secure Sockets Layer) について, サーバ証明書の更新手続きが完了したことが報告された。

7. 企画・社会連携担当からの報告

大住理事より, 2019 年 4 月に臨時委員会として設置されていた将来構想委員会の活動報告がなされた。将来構想委員会設置の経緯, 委員会活動経過, 委員会での議論の要約 (地域の連携学会の必要性, 参加者数の減少理由, 活性化の方策), アンケートと委員会の検討から示唆されること, 総括が報告された。

8. 表彰担当からの報告

井鷲理事より, 第 11 回日本学術振興会育志賞の候補者募集について, 推薦受付期間が 1 か月順延されたことに伴い, 日本森林学会事務局への受付締切を 5 月 20 日から 6 月 20 日へ変更したことが報告された。

9. ダイバーシティ推進担当からの報告

高山理事より, 第 18 期第 2 回男女共同参画学協会連絡会運営委員会 (2020 年 5 月 9 日, Zoom にて開催) に高山理事と竹内主事が出席したこと, 2020 年度第 18 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム (2020 年 10 月 17 日, 日本大学資源生物学部にて開催) に参加予定であることが報告された。

10. JABEE 担当からの報告

大久保理事より, 学会大会中止にともなう公開シンポジウムの森林分野 CPD プログラムへの提供中止と引き継ぎについて報告された。

11. プログラム編成担当からの報告

梶本理事より, 2020 年度プログラム編成委員会委員の選任が確定したこと, アンケートに基づく第 131 回大会でのプログラム編成委員会の業務の総括について報告された。主な意見として, 大会日程に関する意見 (授賞式を 2 日目とした例年とは異なる日程の効果が確かめられなかったのは残念であった, 研究発表が連続日程でないためプログラム編成や座長の決定に苦労した, 大会参加者の予算や時間の都合を考えると研究発表は連続日程の方が望ましい), 部門別発表に関する意見 (学生ポスター賞の発表とそれ以外の発表が別日になることで, 関連研究の議論や交流が阻害されている), 大会中止の事後処理についての意見 (適切に処理されていた, 中止判断の時期も問題なかった, 中止判断の時期はもう少し早くしてほしかった), その他の意見 (託児室の募集期間は大会間際まで延ばしてほしい, 新型コロナウイルス感染状況の推移を考慮して, 次回大会のオンライン開催も準備してほしい, 非学会員の招待者から参加料を徴収するのは参加を見送る大きな要因となる) が報告された。

議事録作成者: 玉井幸治, 南光一樹